２０１６年（平成２８年）８月６日　土曜日

デーリー東北新聞　１５面　掲載

中国インターハイ　第9日

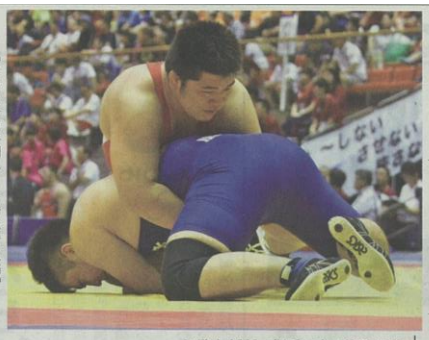
全国高校総体（インターハイ）第９日は５日、中国地方（岡山、鳥取、島根、広島、山口）の各地で熱戦を繰り広げた。剣道女子個人決勝は東義同士の対決。小松加奈が浅野茉莉亜に勝ち頂点に立った。体操女子団体の弘学聖愛は11位。相撲男子団体で三農は決勝トーナメント１回戦、五農は２回戦で姿を消した。弓道男子団体の黒石も決勝トーナメント１回戦で敗れた。レスリング男子個人60㌔級の小川航大（工大一）、同120㌔級の番地啓太（八学光星）は共に準々決勝敗退。重量挙げ53㌔級の川畑翔（八戸水）は29位だった。

６日も各地で競技を行う。

（取材班）

レスリング

男子120キロ級 番地（光星）　男子60キロ級 小川（工大一）　4強ならず

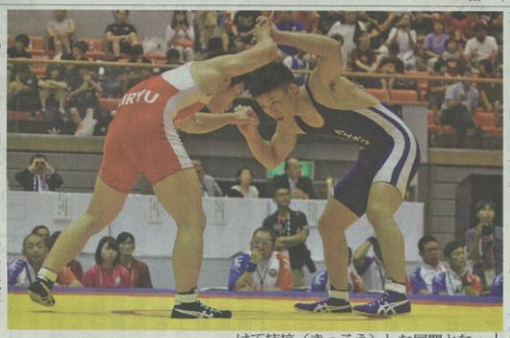


【レスリング男子個人120㌔級準々決勝】番地啓太（上、八学光星）は1―2で惜敗＝東広島運動公園体育館

先制され焦り

○…男子個人120㌔級準々決勝に進んだ番地啓太（八学光星）は1―2で柳魁十（鹿児島・鹿屋中央）に惜敗。

ロースコアで勝ち切ろうと試合に臨んだが、相手に右手を取られて体勢を崩し、2点を先制された。その後も、逆転を狙って仕掛けた技が直前の反則行為で無効になるなど、好機を生かせなかった。番地は「先制されて焦ってしまった」と敗因を口にした。

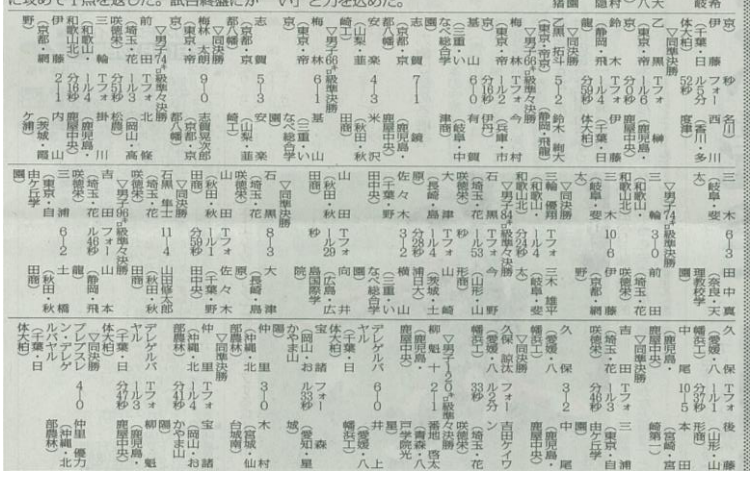


【レスリング男子個人60㌔級準々決勝】小川航大（右、工大一）は1―6で敗れる

優勝「まだ遠い」

○…男子60㌔級の小川航大（工大一）は、鈴木絢大（静岡・飛龍）に1―6で敗れ、準々決勝敗退。「優勝にはまだ遠いと感じた」と悔しがった。

序盤に2点を先制されたが、積極的に攻めて1点を返した。試合終盤にかけて拮抗（きっこう）した展開となったが、相手が仕掛けた連続技にはまってしまった。2年ながら8強入りを果たしたが、「優勝を狙っていたので満足できない」ときっぱり。来年に向けて「連係技を仕掛ける練習などを重ねて、もっと勝ち上がれるようにしたい」と力を込めた。



デーリー東北新聞社提供